

庁舎等公共施設の最適配置に関する住民説明会における記録

【質疑応答】

説明会日時および会場

令和4年7月23日（土）	13時30分～	福祉センターラポール秦荘 いきいきセンター（研修室）
	19時00分～	
令和4年7月24日（日）	13時30分～	愛知川図書館・びんてまりの館（視聴覚室）
	19時00分～	

※頂いたご意見等について、その趣旨を損なわない範囲で要約等させて頂いている場合があります。

会場：福祉センターラポール秦荘 いきいきセンター（研修室） 昼の部

質問者	質問・意見	回答
A	保健センターの完成予定から逆算すると、1年前から工事着工となり、その前になると、今年度に設計することになると思うが、スケジュール感は？	庁舎改修および増築棟の設計は既に済んでいる状態です。
A	旧愛知川警部交番・旧警察官舎の解体の時期は？	令和5年4月からの予定で準備しています。
A	秦荘庁舎の職員が愛知川庁舎に移ってくるが、入りきれぬのか？	現愛知川保健センターを、庁舎の一部として利用し対応します。
B	庁舎集約することで、住民サービスの低下について（例：移動手段等）町長の考えは？	秦荘庁舎は住民窓口として今後も機能するため、変わらずご利用いただけますので、移動手段の問題とは直結しないと考えます。逆に言えば、その様なことが発生しないよう、現在の秦荘サービス室より多くの事務を行います。
B	国道8号バイパス等、町を取り巻く状況は変わっているが、8号バイパス沿いに合同庁舎を建てる考えはないのか？	両庁舎の耐用年数を踏まえ、たちまち多額の費用を投資し、新庁舎を建設することは考えていません。今使えるものを利用していきます。
B	今回の取組を実施することで、公共施設の将来更新費434億円がなくなるのか？	434億円は84施設にかかる更新費であり、今回の取組は、その内の9施設に関するものです。取組を実施しても434億円がそのまま削減されるものではありません。
B	434億円は根拠があって掲載しているのか？何のために示したのか？	総務省からの基準により試算したものです。
B	例えば、財政面の視点で見ると、それぞれの施設ごとに資料整理して示してもらうと分かりやすかった。	説明会資料、P39・P40で施設ごとの費用を示しています。
B	町民センター・愛知川公民館をなくして愛の郷に移すとなると、社会教育による公民館の機能は大丈夫なのか？5年後・10年後にやはり必要だから建てるとならないか？とりあえず5年・10年という設計に見えて信頼できない。	公民館がこれまで補ってきた機能をどの様に担保するのかが、重要な課題であると認識しています。一般的に全国の自治体でも、公民館をそのまま建替えるのは、財政状況、社会情勢の変化等から少ない状況であり、複合施設等に公民館的な機能を持たせて担保していくのが主流であると思っています。人生100年の時代、生涯学習を含め、これまで公民館が果たしてきた機能を、どの施設で果たしていくかについては柔軟に考え、人材についてはどのように配置し役割を果たしていくのか、両輪で考えていく必要があると思っています。
B	今回のデザインは決定事項か、案か？	昨年度の全戸配布時点の案を、皆さまからのご意見をいただき取り纏め、方針として町が持っているものです。最終的には議会に上程させていただきお諮りいただくこととなります。
C	今後35年間で434億円の更新費がかかるとのことだが、今回の公共施設の見直しを加味した額か？それとも見直しをしなかったらの額なのか？	そのまま維持した場合の金額であり、見直しによる効果は加味していません。

会場：福祉センターラポール秦荘 いきいきセンター（研修室） 昼の部

質問者	質問・意見	回答
C	秦荘庁舎を支所とすることで取扱業務が増えるが、サービス低下について考えるにあたっては、その事務の内容が肝心であり、早めに公表してもらえないか。	秦荘庁舎には、建設下水道課、農林振興課、商工観光課、教育委員会のほか、住民の皆様に近い業務を担っているサービス室があります。今回の集約化により、特にサービス室以外の課で取扱っている、各種申請や届出が対応できるよう調整しています。また、相談業務の取次については、オンラインでの対応も今後検討したいと考えています。取扱事務の公表については、秦荘庁舎の支所化の取組みがスタートしたのち、皆様にご覧いただけるよう考えます。
C	今回の取り組みによる効果は、今後35年間で必要とされる更新費用から見ると約5%ほど削減できるという理解でよいのか？	はい。
C	支所でどのような業務を取り扱うかは、東部地域の方にとっては関心が高いことなので、集約化しても大丈夫だ、財政面含め最適配置に取り組んでいかなければならないという方向になるかどうかは早めに情報が提供されるかどうかにかかってくると思う。早めの情報提供を検討いただきたい。	ご安心をいただけるように努めてまいります。担当課においては各課とヒアリングを行い、取扱事務の取り纏めを行いましたので、早い段階で皆様に周知できるよう努めてまいります。
D	旧愛知川警部交番・旧警察官舎の解体費用は町民負担で行うのか？警察の補助等あるのか含めてお聞きしたい。	町が解体費用を持つ前提で、県から町に売却する際に額が差し引かれています。ある程度町のお金で実施しなければなりません。
E	総合管理計画において、愛荘町は町の規模に対して施設を多く持っていることが示されているが、この解消が大きな課題だと考える。どのように減らしていくのか。説明の最初に全体像の説明が必要であったのではないのか。	施設全体を見据える必要があるのはその通りです。まずは9施設から取り組みますが、施設はあればあるほどその維持に費用がかかるものであるため、施設全体の総量は抑えていかなければならないと考えています。
E	秦荘庁舎の支所以外のスペースは、団体への貸し出しやサークル室となっているが、どれだけの借り手がいるのか。常態的に人が出入りする仕組みを考えないと秦荘庁舎というおおきな空き家を抱えている状態になる。東部地域の活性化の観点からどのように考えているのか。また、団体活動が愛の郷とハーディーセンターに移ることもあり、愛知川と秦荘を気楽に行き来できる手段が必要ではないか。	安全管理上、恒常的に定時後夜間まで庁舎を利用してもらうことが難しいため、事業者の参入は困難だと考えます。ハーディーセンターの一部として生涯学習に活用できるよう整備します。
E	新保健センターについて、消防署と現保健センターの間に建設予定とのことだが、なぜ旧愛知川警部交番・旧警察官舎跡地を活用しないのか。現在の計画では警部交番跡地の駐車場から保健センターまで道路を渡ることになり危険である。	現保健センターの隣に建てることによって、庁舎と一本の導線で繋がるができます。また、新保健センター側にも駐車場がありますので、道路を横断しなくてもご利用いただけます。

会場：福祉センターラポール秦荘 いきいきセンター（研修室） 昼の部

質問者	質問・意見	回答
F	愛知川庁舎は水に浸かる可能性がないか。県のハザードマップでは200年確率で浸水可能性があったように記憶する。 その上で、愛知川庁舎の地下に基幹設備が集中していると思うが、30cmの浸水があった場合、災害に対応できるのか。本部を設置する場所として最適なのか。また、確認しておいてください。	確認しますが、町のハザードマップでは、浸水しないエリアとなっています。 ※確認結果 県防災情報マップ（水害リスクマップ）も町ハザードマップと同様です。愛知川庁舎地下に空調ボイラーがありますが、災害対策本部設置場所および電算室は単体の空調対応としており、また電力についても非常時給電装置を備えています。なお、非常時給電装置は約0.60mのコンクリートベース上に設置しており、災害時の対応をとっています。
F	愛の郷は増築するのか。全部をいきいきセンターに集約したほうがコスト面で合理化できるのではないか。	愛の郷の増築は考えていません。福祉センター機能は、すべていきいきセンターへ持っていくわけではなく、生活困窮等に関する相談は愛知川地域のほうが多いため、相談業務は愛の郷に残す必要があると考えています。
B	最後に要望だけ話させていただきます。 住民に重点的な視点がいないように感じる。例えば職員の庁舎間の移動については考えているのに住民の移動は考えていない。特に秦荘地域は不便になると思っているので、今後、交通手段の確保について要望する。 もう一点は、支所にして今のサービス室より便利にするというなら、どうして今からできないのか。口だけではないかと不信に感じる。もう少し住民主体の行政運営を要望しておきます。	（ご要望のご発言であり、回答はしていません。）

会場：福祉センターラポール秦荘 いきいきセンター（研修室） 夜の部

質問者	質問・意見	回答
A	コロナ禍ではあるが60名定員で出席率が半分に満たない状態で、丁寧な住民説明となり得るのかどうか。	定員について、時勢から、座席間のスペースを確保する都合で各回60名とさせていただきます。本日参加された人数についての解釈は様々あると思います。その中で、自治会ミーティング等、地域に出向いて意見をお聞きしていると、多くの方が公共施設の最適化の必要性についてある程度ご理解いただいているのではないかと感じています。
A	先日、秦荘庁舎の冷房が故障したため会議の会場を庁舎からハーティーセンターに変更した。職員に聞くと、いつ直るかわからないという話だった。これが愛知川庁舎ならすぐに対応されたのではないかと懸念している。	秦荘庁舎のクーラーの不具合については、経年劣化によるものであり、対応すべく見積を取っている最中です。場所にかかわらず、機能保全はしっかりやっていく必要があります、迅速に修繕を行います。
A	8号バイパスの計画では、東部地域が平面交差や高架下になったりと、あまり目を向けてもらえていないように感じる。建物だけでなく、愛荘町を全体的に見直していったらいい。	東部地域に目を向けてほしいというご意見は当然のことです。未だに町内各地域に入ってお話をすると「なぜあちただけ？」という意見をお聞きますが、現在の各施策は、一つの町として取り組んでいることであり、片方の地域だけといったようなことはありませんので、ご理解いただければと思います。
B	公共施設の最適化が喫緊の課題であることは理解したが、機能が一極集中すると災害対応はどうするのか。秦荘庁舎の防災倉庫を防災センターや危機管理室に格上げしてはどうか。危機管理とは災害時を想定しいかに行動するかという点をふまえ、これだけは現計画から改善してほしい。せっかく庁舎があるのに、倉庫として防災の備品を出すだけではもったいない。	防災拠点については委員会でも論じられたところです。また、愛知川庁舎へ集約する背景として、建物が災害対策本部として国が示す耐震基準を満たしているという点もあります。秦荘庁舎も一般の公共施設としての耐震性はクリアしていますが、対策本部としての耐震性までは確保されていないところです。ただし、必要に応じて災害時に秦荘庁舎も活用することは検討したいと考えています。
C	庁舎をひとつにまとめることについては、そうあるべきであろうと考えるが、位置が問題であり、愛知川庁舎に集約するとあまりにも位置が偏りすぎているが、そこをどのようにフォローしていくのが課題であると考え。実際に秦荘で災害があった場合は、秦荘地域で指揮がとれるシステムにしてほしい。	必要な備品を届けられるように秦荘庁舎に防災倉庫を設置することにしました。対策本部については、迅速に情報を集める必要がある点や、愛荘町が平地で繋がっていることから、ひとつの拠点からコントロールせざるを得ないのではないかと考えます。
C	秦荘支所の業務について、何がどのように増えるのか丁寧に説明してもらうことが安心に繋がる。住民票など基本的な申請は取り扱われることと思うが、高齢者が増えてきている地域であり、福祉の相談窓口もぜひお願いしたい。	現在の秦荘サービス室より取扱業務を増やしますが、仮に今、不便に感じられているものがあればお聞かせください。現在のサービス水準を下げないということをお大前提として最適配置に取り組みます。支所業務の選定についてはほぼ完了しているところであり、取り扱う業務については早めに公開したいと考えています。
D	支所の業務について、1回で完結できるのか。何回も行くことにならないか心配している。結局本庁舎へ行かなければならない状況になるのではないか。	手続きが1回で済むことが肝要だと考えていますが、審査が必要等の理由から、どちらの庁舎でお受けしても1日で完結しない業務もあります。この点は従来と変わるものではありません。

会場：福祉センターラポール秦荘 いきいきセンター（研修室） 夜の部

質問者	質問・意見	回答
D	過去、蚊野の公民館がなくなって愛知川の公民館に統合された。その愛知川公民館もなくなって、いわゆる社会教育法に基づく社会教育が公民館でないところに移動することによって、その役割もなくなってしまわないか心配している。	公民館が果たしてきた機能・役割がなくなってしまうのではないかと心配されていると思いますが、どんな施設・スタイルになっても社会教育機能、また、拠点としての役割をどう担保していくかが非常に大事なところで、なくなっていいものではないと考えています。生涯学習、また、これからの社会情勢にあった公民館の役割をどういった施設が持続可能な形で担っていけるのか考えていく必要があります。また、施設だけでなく、どのような人的配置を行うのか考えていく必要があります。昨年度から生涯学習課でも調査研究を進め、計画を策定していることであり、公民館的な機能を維持できるよう努力していきたいと考えています。
D	参加人数が少ないが、これで十分な説明を行ったとして強引に進めないよう注意してほしい。各字ごとに説明会を行い、膝を突き合わせて意見を聞く必要があると考える。網をかぶせたような説明会では意味がないように感じる。もう一度改めて各字ごとに懇談会を開いて欲しい。	説明会のあり方について、より多くの方に話を聞いていただきたいと考えています。これまでも自治体ミーティングで話題にしており、対話の場は積み重ねてきていますが、今後、広報でも報告していきたいと考えています。また、今回の説明会に参加できなかった方も内容を見ていただけるよう、動画配信を予定しています。
E	秦荘庁舎のクーラーは、直すとなれば億円単位の出費となると思うが、お金がかかるから手がつけられないということではいけない。センタークーラーを直すとなれば出費は大きく、また、今後の使用方法から、防災倉庫のところまで整備する必要はないと思うが、今後も使う部屋だけ小さいクーラーで費用を抑えながら対応することができるのではないか。	金額に関わらずしっかりと対応していきます。後付けクーラーについてはこれから模索をしていくところですが、個々に対応しても家庭の家電と同水準の金額とはならないと考えています。
E	地域総合センター3館については最初から聖域化されていたように感じる。なぜ今回の検討内容に入れられてなかったのか。他の自治体は地域におろされる等のダイナミックな改革をされている。人件費も維持費もかかる中で3館の将来についてどのように考えているのか。	地域総合センターに関して質問をいただきましたが、私の町長就任前（前町政において）、すでに山川原センターについては、建替え工事に着手されておられます。
E	公民館がなくなった場合、愛の郷のスペースで同様の事業が実施できるのか。地域総合センターをみんなが使えるような機能に変えていく等、何らかの活用方法を編み出すべきではないか。	公民館の事業は愛の郷、ハーティーセンターで対応します。また、ゆめまちテラスも活用いただけます。
E	一極集中化によって、東部地域の住民は移動の対応をしていくことになるが、東西を結ぶ安全な道路が重要。東西をつなぐ歩道がないため、どこか1本でも安全な歩道付きの道路整備が必要ではないか。	歩道については、秦荘中学校からセブンイレブンの歩道、目加田南交差点に向けての歩道、山本設備前の歩道等整備を進めており、引き続き力を注いでいきたい。

会場：愛知川図書館・びんてまりの館（視聴覚室） 昼の部

質問者	質問・意見	回答
A	1年5カ月前の全戸配布の資料からどこがどのように変わったのか。（今回の説明で分かったのは削減効果額が前は36年間で約25億円、今回35年間で約21億円。僅か1年5カ月で約16%も下がっていることと、最適配置の完了が3年から4年後ということ。）	1年前に全戸配布した資料との比較の質問として受け取らせていただきました。特に金額の面では、P39の現状維持の更新費に変更があります。更新費のベースとなる総合管理計画を昨年度見直したことや、新たに取得を予定している旧警察官舎を含めての解体費用等が大きな違いです。
A	意見募集のどの意見をどの部分に反映したのか、採用しなかった意見はどのような理由で採用しなかったのか。	代表的なものは、秦荘庁舎の活用になります。庁舎の活用については、再度検討し、2階に予定していた防災倉庫を1階へ移動し、2階の大会議室および事務所フロアを多目的ルーム、サークル室へ変更し住民の皆様に活用していただけるよう意見を取り入れさせていただきました。
A	私の質問の答えになっていない。私が聞いているのは、1年半前の計画と、どこがどのように変わったのか？コストが変わったとか秦荘庁舎のことだけ断片的に答えないでほしい。それは例として言っているだけ。それ以外の所も含めて町長の説明には無かったのでお聞きしている。また2つ目の質問も、反映した意見はどの意見で、どの部分に反映したのか、反映しなかった意見はどの部分で、なぜ反映しなかったのかお聞きしている。	＝続けて、別の方が発言される＝
B	意見募集をして234件の意見に対して「参考にします」「検討します」と回答された以上はどうされたのか、その検証内容を尋ねておられる。お答えが無いと検証されていないと捉えられてしまう。	当時、多くの意見をいただき町として回答を公表していますが、意見としては、両庁舎の集約化についての意見、また、実施時期の意見などあり、町の考え方をお答えさせていただきました。特に支所についての意見が多く、ワンストップ化の意見が多かったことから、秦荘支所の取扱業務を増やしたところです。
A	時間の無駄になりますから断片的な答えを言わないでください。234件の意見をまとめられたのですから、個々に、計画のどこに採用したのか教えてくださいと言っている。採用できなかった意見はどの意見でなぜ採用しなかったのか。意見募集結果のP29の回答を見て聞いている。 皆さんおられますので、私ばかり時間を取ることは駄目だと思うので、後でお話ししましょう。文章でお出ししますので文章で回答をしてください。	（後ほど文章を受け取ることで、回答はしておりません。）
C	公民館を利用していた者からすると、なるべく近い場所で活動したいので、愛の郷をどの程度利用できるのか。	愛の郷で行っている権利擁護や生活困窮の相談業務など一部は残りますが、介護事業についてはいきいきセンターへ集約することで、そのスペースを使っただけよう複合施設として整備していきます。
C	ゆめまちテラスえちを借りたいと思っているが、これまでもイベント等が入っており、なかなか借りることができなかった。たまには使わせてもらいたい。	ゆめまちテラスえちは旧郡役所として思い入れのある施設と思います。現在、麻組合も町の魅力を発信するため、体験会など取り組みを頂いており、そのスペースが必要であったと考えます。麻組合の活動に感謝申し上げながら、住民の皆様にもしっかりお使い頂けるようにしていきます。
C	以前ふれあい本陣を借りたが、「食事の予約が入ったので予定を変えてほしい」と言われた。借りやすい場所にしてほしい。	ふれあい本陣には意見としてお預かりして、指定管理者と共有していきます。

会場：愛知川図書館・びんてまりの館（視聴覚室）

昼の部

質問者	質問・意見	回答
B	前回の配布資料や総務省・国土交通省の資料をもとに質問する。今回の最適配置や統廃合が、将来のまちづくりと本当に関連があるのか。何に則って行っているのか。 総務大臣の通知より、公共施設の最適は長期的視点を持って地域社会の実情（人口減少、人口密度、財政悪化、公共施設の更新費）に合わせとある。町は人口ビジョンをはじめ様々な調査をしており、人口の中心や増減について推計されている。町長は、小学校や保育園の児童減少について言及されていたが、町の資料によると2025年を基軸として1と考えた場合、2055年でも総人口は変わらない。年少者人口は88人しか減っておらず、現状を理解されていないように感じる。また、生産者人口や高齢者人口も30年で1,000人減っているだけ。 公共施設の再配置は将来のまちづくりのために必要なものである。国土交通省の国土グランドデザインから派生した国土形成計画には個性ある地方創生と書いてある。これがスマートシティの概念であり、人口中心地をまちの核にしないということであるが、人口の中心は愛知川庁舎と秦荘庁舎から変わっていない。歩いて安心して暮らせるまちづくりをしていくことを理解されて最適配置の計画をされているのか疑問である。明確な回答をしてください。 もう一点、対応年数の概念、長寿命化にどう繋げていくのかお聞きたい。大規模改修費と更新費について、耐用年数を基軸にして考えられているが、耐用年数の理解はどのように考えているのか。耐用年数について十分に理解されていないと長寿命化は計画できない。 今、町が出している公共施設の将来更新費の資料は、総務省の簡単な基準に基づいた掛け算だけで算出されたものである。建物の機能や性能を十分に理解されていないければ長寿命化の計画はできない。耐用年数が過ぎたらすぐに直すのか？旧近江銀行を例にとると、築90年経つが、必要なものなので性能を高めて維持されている。 築30年目に改修して60年目で建替えでは何も変わらないではないか。	公共施設の配置の仕方の基本的な考え方についてご質問いただいたと思います が、国ではコンパクトシティ、町ではグランドデザイン2040と併せて都市計画マスタープランや立地適正化計画をグランドデザインの検討委員会で検討を進めており、まもなく町の案として出させていただく予定をしています。その中でも、愛知川駅および愛知川庁舎周辺、また、秦荘庁舎周辺が核となる地域となり、そこにある公共施設は基本的に活かしていくという形で進めていく考えです。 （ここで質問者が発言される） 追記：世代間の人口変化について（2025年⇒2055年） ・総人口 ： 453人減 ・年少人口 ： 370人減 ・生産年齢人口： 1,404人減 ・老年人口 ： 1,321人増 【第2期愛荘町みらい創生戦略（人口ビジョン編）令和2年3月より算出】

会場：愛知川図書館・びんてまりの館（視聴覚室） 昼の部

質問者	質問・意見	回答
B	そのことを理解されていながら、文化と健康の施設をすべて壊す予定なのか（公民館、町民センター、武道館、体育館）。これからの行政が財政悪化に面し、健康寿命の延伸は非常に大切である。 町の資料では、公民館と町民センターの利用者が年間18,000人とのことだが、それら方々をどのように6km～7km離れたいきいきセンターに運ぶのか。そのことが資料に記載されて当然なのではないか。職員の移動については大変だと言いながら、町民18,000人はその苦勞を甘受せよということなのか。 以前は公民館の代わりにゆめまちテラスを利用できるとのことだったが、今回は記載がない。2階に上がらなければならない、非常に使いにくいため当然だと思う。今回は愛の郷が代わりの施設となっていたが、愛の郷も利用者は18,000人いる。併せて36,000人がどのように利用するのか。壊してしまったら元には戻れない。具体的に使用人数、必要な床面積、時間帯を提示しなければならない。 これからは地域に密着した生活を重要視しようという方針が経済フォーラムで出ており、それを進めていこうという中で、なぜわざわざ施設をなくすようなことをするのか。歩いて完結するまちの大きさは4km四方ということを理解されているのか。人的資源が大事になる時代であることをふまえたまちづくりをした上での最適配置計画でなければ将来困る。	あるものを活かしていく、残すべきものを残していくというのは非常に大事な考え方だと思います。人口増と経済成長が右肩上がりに続いていた時代には、公共施設を充実させることが住民の皆さまの幸せであったと思いますし、それが行政に求められていたことだと考えます。愛荘町はこの先しばらく人口が減らないという推計がありますが、日本全国が人口減少に向かっていることは間違いない事実です。出生率が大幅に回復しない限り、全国の人口は減っていくため、愛荘町を訪れてくださる方も含めて少なくなることは確実です。そういった中で、公共施設をこれまでと同じように維持し続ける、あるいは老朽化した施設を同じ規模で建替えることが難しいのはご承知をいただいているとお리だと思います。（次の質問をされる）
B	そのようなことは理解している。 例えば、公民館は緞帳が故障しているとのことだが、緞帳を使わない施設の利用方法を考えているか疑問である。これから多機能化等、施設をどう使用するか考えているか。どのような事業が増えてきて、どのような施設、面積が必要なのか考えたのか。 今あるものをすべて残せと言っているわけではなく、必要な面積、必要な場所、住民に必要なものを生活の核から外すというのはどういうことなのか。先ほどの耐用年数のことを聞いたが、どの様の考えられているのかお聞きしたい。	耐用年数については、総務省から試算ソフトが出ており、建築から30年で大規模改修、60年で建替えという計算で将来更新費を試算しています。実際に大規模改修をしたことにより性能が向上したことを考慮したものではありません。
B	総務省の試算ソフトを使用されているのは理解しているが、長寿命化との関連をお聞きしている。	当町では、学校施設に関しては長寿命化計画を策定しています。その計画では目標を80年に設定し、20年目で改修、50年目で大規模改修、80年目で建替えというサイクルになっています。学校以外の公共施設については耐用年数を60年としている。 （他の参加者のご意見もあり、後ほどお聞きすることとなる）

会場：愛知川図書館・びんてまりの館（視聴覚室） 昼の部

質問者	質問・意見	回答
D	35年間でイニシャルコストがランニングコストを上回ることにならないか。現実的に、35年の計画を立てても、大半の職員は在職していないだろう。また、わが国の経済状況、愛荘町の財政状況の変化が35年間では不透明で見えてこない。せめて、愛荘町の総合計画の期間と合わせ2027年までとして、その計画に入らない施設は2028年からの10カ年の計画としてスパンによって最適配置施設の優先順位をつけるべきではないか。併せて道路、河川、下水道などのでも長寿命化工事が必要となる。また、複雑かつ多様化する行政需要による費用の自然増加が考えられるが、それらをすべて包括した、歳入・歳出のバランスのとれた財政計画について町の考えを示していただきたい。 他の要因を考慮せず、まして35年間計画といった机上の空論では住民の理解は得られないのではないかと。すべて網羅した丁寧な計画となるよう求める。	計画のスパンについては、来年度お出しする個別施設計画で議論していきたいと考えています。
D	今回の資料で新しい考え方が出されているようには感じられなかった。支所にするには相当数の職員の増員が必要となり、人件費の増加は避けられない。町は、部局横断的な決裁に職員の庁舎間の移動が必要であり、業務効率や危機管理に課題が生じると課題を呈されているが、支所内で完結すれば解決する。	特に秦荘庁舎の空きスペースについて、検討し、防災倉庫および生涯学習の場としました。支所はしっかり対応できることが重要だと考えており、高齢の方や障がいのある方、生活に困窮されている方が来られた場合でも、ワンストップで手続きできるよう対応していきたいと考えています。
D	公民館について、社会教育や地域のコミュニティの自治能力向上のためにも必要だと考える。再度考えていただきたい。	愛知川公民館の果たしてきた役割は非常に大きなものだったと認識しています。残していきたいところですが、維持管理の面を考えると難しいのが現状です。使えるところをうまく活用していくというご意見はその通りですが、対処療法的な修理に追われているのが現実です。将来的な投資を考えながら総合的に判断していく必要があります。公民館という名のつく施設がなくなっても、その機能を有する施設が担保されるべきだと考えています。場所、施設のスタイル、機能を果たすための人員配置などを含めて総合的に検討していく必要があると考えています。
B	先ほどの回答で検討していく必要があるとのことであったが、公民館については、あり方について検討したうえで今回の方針が出ているのではないのか。また、住民の移動や利用頻度等から調整したうえで統廃合していくのではないかと。	今後の生涯学習のありようについては、庁舎の集約のことだけでなく将来を見据えて検討していく必要があることは間違いありません。社会情勢も変化しており、地域コミュニティがどのようになっているのかと考えるときに、例として、各学校に作っているコミュニティスクールを活用してコミュニティの再構築をしていくこともできます。既に小学校では児童数の減少が始まっています。例えば空き教室を利用して公民館的な機能を有することができるのではないかと等、幅広く検討していく必要があります。

会場：愛知川図書館・びんてまりの館（視聴覚室） 昼の部

質問者	質問・意見	回答
A	副町長からグランドデザインのお話があり、総務政策監からは個別施設計画の発言があった。それなら、グランドデザイン2040を説明し、次に個別施設計画を説明して、その中で、公共施設の最適配置を説明するよう、関連する計画から順序立てて説明をやり直してほし。各計画をバラバラに説明されても困る。	お話のあった様々な計画については、作成するタイミングがそれぞれあり、「1」を作って「2」を作って「3」を作る形のものでは無いことはご承知いただいていると思います。それぞれのタイミングで今まで作ってきた計画を反映させ、順次、新しいものに構築していく。その様なまちづくりを進めていますので、ご理解をいただきたいと思います。
A	今の副町長のお話を聞いて言わせていただくが、そのタイミングが間違っている。まずグランドデザインを決めて、それから総合管理計画、個別施設計画を作り、その中で最適配置を説明する。タイミングが間違っている。	ご意見としてお伺いさせていただきますが、それぞれの計画は、国から要請等されているタイミングがあります。それに基づき行政としては進めさせていただきます。

会場：愛知川図書館・びんてまりの館（視聴覚室） 夜の部

質問者	質問・意見	回答
A	P7 「庁舎等公共施設の最適配置」とは誰に、何に対する最適配置なのか。	大きな視点となりますが、「住民にとって」、「愛荘町にとって」、「私たちの暮らしにとって」、「私たちの未来のために」といった大きなものと考えています。
A	P8 「愛荘町公共施設の利活用を考える検討会」と「愛荘町庁舎等のあり方検討委員会」で答申が出されたが、2つの委員会の構成は？同じメンバーで構成されていたのか。	「利活用を考える検討会」は個別施設計画を策定するためのもので、各種団体の代表や学識者、民間企業等、全14名の委員で構成されています。また「あり方検討委員会」は個別施設計画の中から特定の施設についてさらに踏み込んで議論するためのもので、学識者、区長会、商工会や社会福祉協議会等、全13名の委員で構成されています。このうち、両委員会とも委員をされている方は4名です。（後ほど3名で訂正しお詫びする）
A	心配している点について申し上げます。先の意見募集で、意見提出者が68名。6月30日現在の住民21,388名、世帯数では8,427世帯。仮に1世帯1人に対しこの取り組みを説明した場合、8,000人。今回の説明会は定員60名で秦荘2回愛知川2回の開催では参加者が240名になるが、この説明会で住民にきちんと説明できると言えるか、今回の説明会や意見募集の際の意見も考えあわせ、行政がどのようにとらえているのか？もっと他に住民説明会の工夫がなされるべきではないか。	ご心配頂きありがとうございます。参加者を制限するということではなく、コロナ禍に配慮した会場設営となっている。より多くの方に届けたいと思っており、手段として町の広報がある。また、説明会に参加いただけなかった方のために動画を予定しています。
A	前回の意見募集の意見で、旧秦荘地区から機能を愛知川庁舎に集約し、秦荘庁舎を支所化することについての不満の声が寄せられていたのが印象的だった。その声の背景や根拠は行政として把握しているか？	秦荘地域の方々が不安視されていることは率直に捉えています。すべての委員会、プロセスにおいて、秦荘庁舎はしっかり活用し、そこを支所としていくことで議論し、委員会からの答申もそうなっています。しかし、町が秦荘庁舎を無くそうとしている等の誤った言説が独り歩きした時間が残念ながらあったと思っています。現在の秦荘サービス室の業務を上回る準備をしながら、秦荘地域の方々が不便と感ずることのない体制をつくることが大前提となっています。誤った言説に触れられた故に、ご不安を感じられた部分があったとも思っています。この2年間、様々な場所で住民の皆様と出会い、公共施設の件について話し、意見を聞いてきました。その中で、これを異口同音というのかもしれませんが、「あっちばかりやないか」との発言に未だに触れることがあり、旧町ごとでの捉え方の違いがあると認識しています。私としては同じ一つの町であるということでの取り組みであることをお伝えしてきました。
A	今回説明会に参加して、これまでのピラよりよく理解できた。町内には様々な立場の方がおられるため、説明用語に難しい表現がなかったか検討したか？直接生声でもっとかみ砕いた説明が必要だったのではないか。	町として説明会を介して丁寧に説明していきたいと思っています。対して、中々、関心を持って貰えないのも今日の世相かも知れません。今回の説明会だけではなく、自治会ミーティング等で時間を割いていただき報告をしてきました。その中で、合併している町であり進めていく時期だ等の意見を頂いていることも事実であり、これからも丁寧に話していきたいと考えています。

会場：愛知川図書館・びんてまりの館（視聴覚室） 夜の部

質問者	質問・意見	回答
A	異口同音ということを言われました。旧町名で話すのは適切ではないが、確かに、旧愛知川町から見た場合、旧秦荘町は公共施設の建設を進めているという話を聞いた。今回、旧秦荘町から見た時に、このことをしっかり捉えて、「愛荘町になりましたよ」ということで、愛荘町の公共施設をこれからどう作り直していくのかを丁寧に説明することが、いろいろな考えを持つ住民を、行政の思う方向へ導くことができるのではないかと話を聞いて思いました。 約2万1千人の人口に対して住民説明会の参加者が限定されている。もっと細かく丁寧な説明会を計画的に開催することが、住民を大切にするために必要ではないか。愛荘町をひとつにするためのきっかけとして公共施設の最適配置に取り組んでいけないか強く感じている。	(回答へのご感想の発言としてお受けし、回答はしておりません)
A	地元で組織的にまちづくりに取り組んでおり、会としても公共施設の件について研修会をしたいと思っている。そうした場合に、職員の方に出向いてもらうことは可能か。	そういったお声がけはありがたいことであり、前向きに検討します。
B	少し話の方向性が変わるかもしれませんが、今回、議員の方が多くおられるのでお伺いしたい。公共施設の取組について、前回の議会に通っていない。そのこともあり住民説明会が開催されたのであろうと考えるが、議員の方々は住民投票でしようと思っているのか、このままやってもらえるのか、どのように考えているのか、お伺いできるならお聞きしたい。	司会者より主催者側への意見では無く、また、各議員の考えがあることから、もし発言される議員がおられた場合のみの質問として了解を得る。 (回答なし)
C	未来の子供たちに借金をつくらないための取組は理解する。自分としてはその観点だけでは楽しくない。多賀町で、地域の木を使った木造施設があり、地域の木を使った作品を作る場所として活動されるなど、地域資源を活かすという点にワクワク感を感じた。自分たちも育っていく施設・町がいい。未来のために、借金を残さないだけが理由では盛り上がらない。	ワクワク感のあるまちづくりを私も思っています。今回の公民館や町民センターの跡地の公園については、将来的には隣接する武道館や体育館を踏まえ、例えば子供たちがスケートボードを楽しめる整備をしてはどうか、また、町内全域を見たときに、町東部の自然を活用したバーベキューパークなど、憩いの場にできないかと思ったりしています。その為にも直面する公共施設の問題に向き合っており、向き合わずして進めることは避けたいと考えています。 多賀は合併していない自治体であり、一体的なまちづくりがしやすい点はあるのかもしれませんが。 まだ旧町意識が残っているかとも思いますが、本町もすでに5人に1人が合併して誕生した「愛荘町」のみを故郷とする住民であり、当町においては、これから益々増え続けます。その世代に視点を合わせたまちづくり、施設のあり方にシフトしていく必要があると思っています。